

2020年
12月号
vol.3

圧入 ジャーナル

Lineup

▶活動報告

— 協会活動の
オンライン開催について

▶会員企業様紹介

— 株式会社藤井組
— 北陸基礎工業株式会社
— 株式会社ヨネイ

▶連載

栄えある第5回表彰
— 現場部門賞

▶業界ニュース

▶Information



(株)梶川建設 圧入機本体置場



ジオテック(株) 橋形クレーンと整備工場



(株)大崎産業 圧入機本体置場



(株)SR基工 圧入機置場

本年度はオンラインで開催しました

新型コロナウイルスの感染拡大をうけて、2020年度上半期は当初計画していた技術講習会・現場見学会・杭圧入引抜機特別教育・ブロック会議等の協会活動の全てについて中止または延期を余儀なくされました。しかし、各活動の

うち、可能なものは従来の「集合開催」から「オンライン開催」へ切替えて開催し、圧入工法・技術の普及をはじめとする協会活動を推進しています。

圧入工法技術講習会

当初は春から集合方式で開催する予定だった圧入工法技術講習会を2020年10月16日から12月17日までの計9回、Zoomというシステムを用いて講師と受講者をオンラインでつなぐ方法で開催し、117名が受講しました。

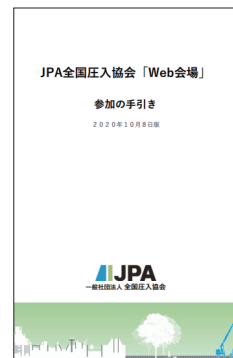
本講習は建設業に従事する技術者のニーズをうけて、例年、CPD認定プログラム（建設業に従事する技術者の能力の維持・向上を支援する



講師による解説の様子

する継続教育制度の認定）として開催していましたが、オンライン開催の講習に対しては集合開催同

様の単位がもらえないという問題点を抱えていました。そこで当協会は、従来のCPD認定プログラムと同じ内容の認定を受ける事が出来るよう認定団体である（一社）建設コンサルタント協会に働きかけ、その結果10月1日より運用規定が改正され、従来どおりのCPD認定プログラム講習会を開催できることとなりました。また、より多くの技術者のニーズに応えるべく11月からはCPD同様に技術者の継続教育であるCPDSの認定も受けました。オンラインスタイルの講習会への参加が円滑になるよう「オンライン参加の手引き」を作成し活用しました。



オンライン参加の手引き

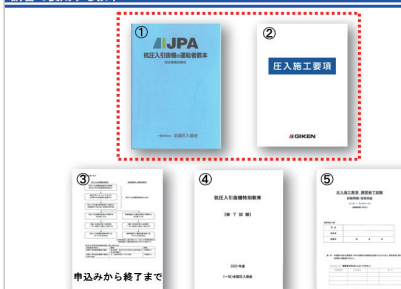
杭圧入引抜機特別教育

例年春と秋に集合開催している杭圧入引抜機特別教育（硬質地盤圧入機特別教育を含む）学科講習は、春の開催をやむなく中止としました。しかしながら本講習は杭圧入引抜機ならびに硬質地盤圧入機の運転に必須であるため、できるだけ早く開催したいと準備をすすめ、10月、11月の2か月間に計4回、従来どおり東京都職業訓練認定講習としてオンラインで開催しました。受講者にオンラインで受講できる環境を整備してもらい、事前に受講申込者全員と接続テストを行って通信状態を確認し、講習を実施したことで通信の不具合なく、111名の申込者全員が2日間で計14時間の学科講習を修了しました。次年度以降の開催方法については受講者のニーズを踏まえて検討していきます。



モニターを通じて受講者へ講習

講習で使用する教本



オンライン用プレゼンデータは講師陣が新規作成しました

ブロック会議・支部会議

ブロック会議・支部会議は9月30日から12月11日までの全日程をオンラインで開催しました。今年度から本格的に始動した「圧入施工技能者のための登録基幹技能者の認定団体を目指す活動」や「建設業許可区分の新設活動」等、企画委員会を中心とした活動について、また「現場の安全に関すること」について、「国際圧入学会との連携」について、「積算資料の改訂内容」、「改訂して販売中の2020年版積算ソフト」について等、今年度の協会活動を事務局から詳しく報告しました。また「圧入工事の見通し」について意見交換をしました。中国支部会議で

は今後の支部活動についても話し合いました。



オンラインで協会本部と各社を接続

理事会

「上半期中間事業報告」を主目的に例年11月に集合開催している理事会について、今年度は11月25日にオンラインで開催し、理事・監事24名のうち代理を含めて20名の皆様に出席いただきました。協会事務局より上半期中間事業

報告について全般的に説明したほか、協会活動のオンライン開催の現状報告、2020年度上半期の決算報告を行い、「2021年度会員総会」の方向性について意見交換を行いました。

技術委員会・企画委員会

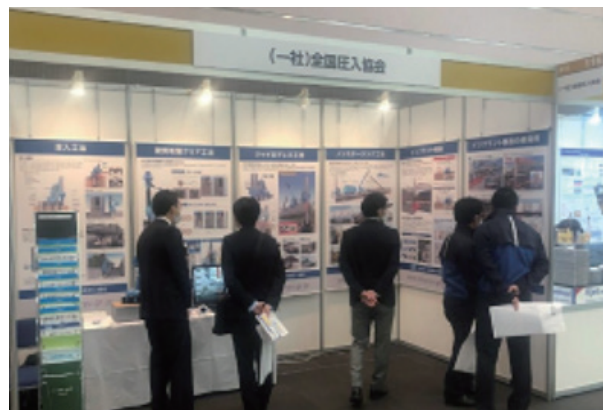
技術委員会(委員長-ジオテック(株)藤田社長)を11月25日にオンラインで開催し、2020年度活動方針である「圧入工法歩掛の改定」「国際圧入学会との連携」「調査・研究の実施(硬質地盤クリア工法施工実績)」、「労働災害防止対策の啓蒙等」の推進について話し合い、今後の方向性を決定しました。

また、「圧入施工技能者のための登録基幹技能者の認定団体を目指す活動」や「建設業許可区分の新設活動」等を主目的とする企画委員会(委員長-藤井組森社長)は10月26日以降断続的に、委員長・副委員長と事務局でオンラインにて具体案について打ち合わせを重ねています。

「九州建設技術フォーラム2020」「建設技術展2020近畿」に出展しました

10月20日、21日に福岡国際会議場(福岡市)で開催された「九州建設技術フォーラム2020」に(株)技研施工の参画のもと出展しました。来場者数は2,342人と小規模であり、協会ブースへの来場者は50名程度でしたが、21日に行ったプレゼンでは受講者30名に、主にジャイロプレス工法の優位性について伝えました。また、10月21日、22日にマイドームおおさか(大阪市)で開催された「建設技術展2020近畿」に出展しました。土保産業(株)、(株)技研施工の2社が参画し、ジャイロプレス工法による3つの工事バリエーションを示した工法パネル、模型を設置し、来場者への説明にあたり

ました。来場者数は13,614名でしたが、このうち約300名の方が協会ブースへ来場され、圧入工法のPRに絶好の機会となりました。



建設技術展2020近畿にて

Member introduction

会員紹介



株式会社藤井組

(大阪府大阪市)

■キャッチフレーズ

我々は土木基礎工事のプロフェッショナル企業である

■最近のトピック

当社は4年前からプロバスケットボールBリーグの大阪エヴェッサとPLATINUMパートナー契約を締結しております。地域振興の一環として下記の大会を開催しております。また、昨今、続く災害時の被災者救護や防災・減災の普及啓発やボランティアの育成のため、寄付をしたことなどが評価され、本年、紺綬褒章を受章いたしました。



11月にBリーグ大会を開催



紺綬褒章を受賞

■創業または設立年月日

昭和38年7月

■自社のPR

当社は2023年に設立60周年を迎えます。【温故知新】「故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知る」の精神を信条とし、諸先輩方に恥じぬ企業をまた次世代に継承していけるよう精進

いたしますので今後ともご指導、ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。(執筆者:森 致光)



森 致光(よしみつ)社長と
長男の光啓(みつひろ)氏



本社全景



北陸基礎工業株式会社

(石川県小松市)

■キャッチフレーズ

建設業を楽しくするのは私達だ

■創業または設立年月日

昭和48年2月13日

■最近のトピック

石川県小松市は、建設機械世界シェア第2位の小松製作所(KOMATSU)がある企業城下町で製造が盛んなところ。弊社は2023年に設立50周年を迎えます。次世代へ建設業の魅力・楽しさを継承し続ける企業であるとともに、インフラ整備で社会貢献をしていきます。

■自社のPR

近年建設業における若手職人の人出不足や高齢化の問題がありますが、弊社では10代・20代の社員が11名、3割在籍しています。高校生のインターンシップ、会社見学などを毎年実施し、来春には近隣の高校から3名入社予定です。若手社員が働きやすい環境をつくり5年後・10年後を見据えた会社づくりを考えています。

(執筆者:水戸 希)



小木 一成 社長



本社敷地内でパチリ

Member introduction

会員紹介



株式会社ヨネイ

(本社：東京都中央区)

(建設機械事業部：千葉県野田市)

■キャッチフレーズ

価値の創造 堅実と信用の継承 人材の育成

■創業または設立年月日

明治 30 年

■社風や雰囲気について

「健康経営優良法人 2020」「東京都スポーツ推進企業」に認定されており、社員に優しい会社です。

■自社のご自慢

機械総合商社として社会の発展と安全に貢献して参りました。建設機械を始め、防衛機器、映像システム、防犯機器など様々な商品を取り扱っております。昭和 5 年に建てられた本社ビルは、台湾総督府を設計した森山松之助氏によるデザインで、90 年に渡り我社のシンボルとして社員に愛されております。

(執筆：片上 将蔵)



建設機械事業部 東京本社所属員全員で
(右から 3 人目が建設機械事業部 片上部長)



森山松之助氏設計の
本社社屋



シンガポールへ輸出したサイレントパイラー

大平 厚 前副会長が海外へ～協会より感謝状を贈呈しました～



大平厚前副会長は、このたび(株)技研施工から技研製作所アジアの代表取締役社長に就任され、海外でご活躍されることとなりました。これに伴い、協会副会長を退任され、永年の協会活動へのご尽力に対し協会より感謝状を贈呈しました。大平様からのメッセージをお届けします。

—— 協会活動での思い出は

会員企業が増え、圧入業界として社会に一定の地位を確立したことです。私が副会長に就任した 2010 年、圧入施工会社である正会員は 100 社を少し超える程度でした。しかし現在は 210 社と 2 倍になっています。そのような中、協会は 2016 年に一般社団法人に移行し、また昨年設立 40 周年を迎えることができたことは、私自身大変感慨深いものがあります。

—— 協会会員へのメッセージをお願いします

全国圧入協会の発展は、ひとえに圧入工法のスペシャリストとして地域の発展に貢献されている会員の皆様のお力によるものであり、事務局の努力の賜物です。今や、協会は行政機関と災害復旧支援の協定を結ぶなど、社会的な役割と責任はますます大きくなっています。私は今後も皆様との連帯により世界における圧入業界の発展を目指してまいります。

皆様のますますのご繁栄をお祈りいたします。

栄えある第5回表彰をご紹介

現場部門賞

多くの課題を見事に解決

宮崎基礎建設株式会社

那賀川（一期）農地防災事業呑口調整水槽工事

本工事は、工期を守るため圧入機による土留締切工事（硬質地盤クリア工法）を複数台で施工し、同時に杭基礎工事を行う必要がありました。これを実現するため過去の工事実績より各施工班の日当たり施工量を緻密に算出した「計画工程表」と各工程での「施工機械配置図」を作成しました。工程や材料の搬入時期、機械配置については現場担当者と密に打合せ・確認を行いながら施工を進めた結果、工程の予測と問題の先読みをすることができ、工程調整においても関連工事との連携においても安全かつ円滑に行うことができ、工期を厳守しつつ完成度の高い施工を実現できました。

栄えある第5回表彰をご紹介します

現場部門賞

工期短縮と安全な施工を実現

杉崎基礎株式会社

H30北浦右岸釜谷地区特殊堤防整備工事

ハット型鋼矢板を水上で圧入せねばならない、隣接する陸地は民地であるためヤードとして使用できない、施工現場の目の前がバス釣り・ふな釣りスポットであり騒音・振動は出せない、という厳しい条件の現場でした。少しでも多く圧入時間を確保するため、約200m先まで光線を飛ばせるレーザーセオドライト(LP402P)を地上終点部に設置して計画法線の管理に用いました。万一にも圧入機の転倒を起さず安全に施工を行えるよう、当初設計の吊り容量2.9t吊を吊り容量10.0t吊に設計変更を行い、施工を進めました。工期短縮と安全な施工の両方を実現できた現場です。



栄えある第5回表彰をご紹介

現場部門賞

果敢に困難に挑戦した現場

土保産業株式会社
鳴尾跨線橋拡幅工事



本工事は橋梁拡幅を目的に他社が圧入した鋼矢板Ⅲ型の天端に当社が鉄板を溶接しゼロパイラーを設置、ゼロ矢板を3枚圧入し、そこから設置しなおして先に圧入した3枚を反力に残り2枚のゼロ矢板を圧入するものでした。ところがゼロ矢板5枚では既設橋脚部を通過出来ない事がわかり、鋼矢板を2枚打った状態で他社から当社に引き継がれました。しかし計画通り先に圧入した鋼矢板6枚を利用して切断・鉄板溶接を行いゼロパイラーを設置して1枚圧入しても、方向転換する時に鋼矢板2枚とゼロ矢板1枚ではゼロパイラーを設置する事ができず、協議の結果、架台打ちに変更しました。圧入機本体、反力架台、ウエイトの計19,500kgの反力で圧入を行ったが反力架台が浮き、圧入出来ず、セクションを外して圧入した結果、無事1日で施工を完了することができました。次々起きる問題に立ち向かい、完成させた現場です。

栄えある第5回表彰をご紹介

現場部門賞

高度な施工を支える徹底した施工管理

株式会社佐藤重機建設

H30 鬼怒川左岸船玉伊佐山地区整備工事

工事延長 2.8km に及ぶ本工事のうち回転切削圧入の施工箇所は 6.75 m を越える高所作業となるため安全で堅固な足場の組立て運用に注力しました。フルハーネス型墜落制止用器具を着用し日々の保守・保管を徹底しました。また降雨による水位上昇が顕著な場所であり資機材流出防止に気を配りました。杭間部材長が 19.0 m と長尺なため圧入管理を徹底する他、杭間部材圧入時にガイドとなるピース材を取付けて圧入を行いました。回転切削圧入箇所の護岸積ブロック等を残置した状態で圧入したため、アングルによる鋼管内部の配管防護を設け、また管内閉塞防止措置として土質に合わせて削孔水吐出方向や流量を調整し、遅滞なく精度の高い施工で工事を完了することができました。

業界ニュース

2020年6月～2020年12月

建設分野の特定技能 初年度は267人

法務省出入国在留管理庁のまとめによると、2020年3月末時点の建設分野における特定技能による在留外国人数は267人だった。すべて技能実習などからの移行者となっている。全業種（3987人）の7%を占め、業種別で5番目に特定技能による就業者が多い。

業務区分の内訳は、建設機械施工士が88人と最多だった。

国土交通省、監理技術者マニュアル改正

国土交通省は、10月1日に施行された改正建設業法の規定を反映して、「監理技術者制度運用マニュアル」を改正した。監理技術者の専任緩和や下請けの主任技術者の配置を省略できる特定専門工事など改正法の規定を実際に現場で適用する際の具体的な留意事項を盛り込んだ。

工期基準実施を勧告、中建審

中央建設業審議会は、工期に関する基準の実施を勧告した。公共・民間、元下を問わずすべての建設工事を対象とし、「受発注者間で目的物の効用が最大限発揮されるように設定することはもちろん、元下間などの各々の下請関係においても適正な工期が確保されるよう、全工程を通して適切に設定することが求められる」との考えを明確にしている。建設業団体や民間工事の発注者、有識者の議論により、適正な工期を初めて基準化した。

監督処分基準で改正案

国土交通省は、改正建設業法の10月1日施行に合わせて、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準」の改正案をまとめた。通常必要と認められる期間に比べて著しく短い工期で下請契約を締結した場合は、元請業者に対して必要な勧告を実施し、正当な理由なく勧告に

記事提供：日刊建設通信新聞社

従わない元請業者には指示処分を行う。10月1日から適用する。

建設業は95%に低下、20年の賃金引上企業

厚生労働省は、賃金引き上げなどの実態に関する調査の2020年結果を公表した。常用労働者1人当たりの平均賃金を20年に引き上げ済みまたは引き上げる予定の企業は、全産業で81.5%となり、前年から8.7ポイント下がった。前年に100%だった建設業は95.0%に低下した。新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されたものの、全体としてはリーマン・ショック後より落ち込み幅が小さく、悪影響は一部の産業にとどまる見通し。

国土強靱化5か年加速化対策を閣議決定

政府は2020年12月11日、2021年度から25年度を計画期間とする「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を閣議決定した。インフラ老朽化対策や高規格道路のミッシングリンクの改善、流域治水の推進など3か年緊急対策にはなかった新たな事業メニューを盛り込んだ。事業規模は民間資金や財政投融资の活用を含めて15兆円程度。中期的な予算の裏付けをもった抜本的な防災・減災、国土強靱化対策が始動する。

「後継者難」倒産、建設業が最多

2020年1月から11月までの期間で、後継者不在を理由に破たんした「後継者難」倒産の最多が建設業であることが、東京商工リサーチが公表した「後継者難の倒産状況調査（20年1～11月）」で浮き彫りになった。企業向けの手厚い資金繰り支援に加え、底堅い公共工事市場を背景に建設業の倒産件数はバブル期並みに抑制されていた。ただ一方でこれまで指摘されてきた、「事業承継問題」が最多倒産件数という形で示された格好だ。

Information

「圧入工法 設計・施工指針－2020年版－」 技術講習会（CPD プログラム認定）をWEBで開催予定です。

2015年に発刊された「圧入工法 設計・施工指針」の改訂版「圧入工法設計・施工指針－2020年版－」（2020年3月改訂）についての技術講習会の開催を2021年前半に計画しています。

今回の改定では、「港湾の施設の技術上の基準・同解説」（2018年改訂）・「道路橋示方書」（2017年）等の記述との整合性が図られたほか、直近5年間の圧

入機器の機能および活用方法・研究成果の進展が反映されたこと、新規の施工事例を採用したこと、事例がより体系的に分類・整理されたことにより、読者の利便性が高まりました。本講習会では同指針の内容を第一章からわかりやすく解説していきます。詳細は決定次第HPに掲載します。



「2021年度第6回JPA表彰について」～まもなく募集を開始します～

2021年度第6回JPA表彰については、2021年1月に応募の案内をすべく準備をすすめています。

詳細は、決定次第会員サイトに掲載しますので、ぜひ応募をご検討ください。

表彰項目は次のとおりです。

圧入技術表彰：現場部門賞
メンテナンス部門賞
オペレーター部門賞
映像表彰：写真部門賞
動画部門賞



新会員紹介

(2020年8月16日～12月15日入会、入会順・会員別)

正会員

株式会社仲野建設様
凌駕建設株式会社様
株式会社ゴリテック様

鹿児島県鹿児島市
福岡県那珂川市
福岡県福岡市

協賛会員

桂建機株式会社様
株式会社徳丸建機サービス様
株式会社浜松建産様
中外機工株式会社 多賀城整備工場様
タダノテクノ東日本 仙台工場様

高知県高知市
鹿児島県鹿児島市
静岡県浜松市
宮城県多賀城市
宮城県仙台市

【会員数の現況】(2020年12月15日現在)

正会員 210社、協賛会員：50社、賛助会員：4社5団体、特別会員：8名

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により、社会・経済の面で大きな転換を迫られた1年でした。会員各位には変わらず多大なご支援とご協力を賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。2021年がより良き年となりますよう、皆様のご健勝と各社の益々のご発展を心よりお祈りいたします。どうぞ良いお年をお迎え下さい。来年もよろしくお祈り申し上げます。



編集・発行 / (一社) 全国圧入協会 事務局

TEL 03-5781-9155 E-mail jpa@atsunyu.gr.jp